



学びと誇りが実感できるまち

～情報活用能力の育成！～

令和3年9月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

葡萄食ふ一語一語の如くにて (中村草田男)

本年度も庄原の子供たちが活躍しています。

コロナ禍にあって、スポーツ大会や文化活動が思う存分にできない実態がありますが、先月末までに全国大会へ出場している子供たちがいます。出場競技種目は、柔道や空手道、軟式・硬式野球、ゴルフ、写真など、8大会に12名(庄原小1名、峰田小1名、庄原中6名、崇徳中1名、庄原格致高校3名)が出場しています。高いレベルの舞台上で力を発揮する体験は、ますます大きく成長することにつながっていきます。

さて、今回はICTを活用した新たな学びについてです。

これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、ICTの有効活用が必要不可欠となっています。

次のやりとりは、小学校第5学年：算数「多角形と円をくわしく調べよう」の授業でタブレットを活用している様子の一部です。(T：教師、C：児童)

【多角形の作図に挑戦している場面】

T：1つの角の大きさがわかれば、コンピュータ上でも正多角形が作図できることがわかったね。

C：正六角形や正八角形がかけました。

C：私は、正二十角形もかけました。

T：では、もっと多くの角のある多角形もかけるかな。

C：やってみよう！正三十角形もできるかな。

T：どうでしたか。かけましたか。

C：コンピュータ上でかくと、これまでかけないと思っていた角の多い図形も早く正確にかくことができました。

～(略)～

学習活動において必要に応じてタブレット等の情報手段を適切に用いて「情報を得る」「情報を整理・比較する」「得られた情報をわかりやすく発信・伝達する」「必要に応じて保存・共有する」など、情報活用能力を育んでいます。

昨年度、各学校に一人1台のタブレット端末とネットワーク環境を整備しました。本年度は、どの教科に、どのように活用するのかなど、ICTの特性をいかした展開を工夫し、「子供たちがもっと学びたい」という意欲的な学びにつながる教育活動をめざしています。また、中学校では高校とオンラインによる進路指導を行い、直接、高校からの説明を聞き、質問や意見を交換している学校もあります。

保護者の皆様には、各学校でICT活用をどのようにしているのか、授業や懇談会などにおいて、実際の様子を参観したり聞いたりしてください。